第 132 号
2025 年 1 月 9 日 発行
発行責任者　工藤 忠男
銚子ジオパーク市民の会
URL： https://choshigeopark.com

2025年の銚子ジオパーク市民の会について

銚子ジオパーク市民の会　会長　工藤 忠男

あけまして、おめでとうございます。

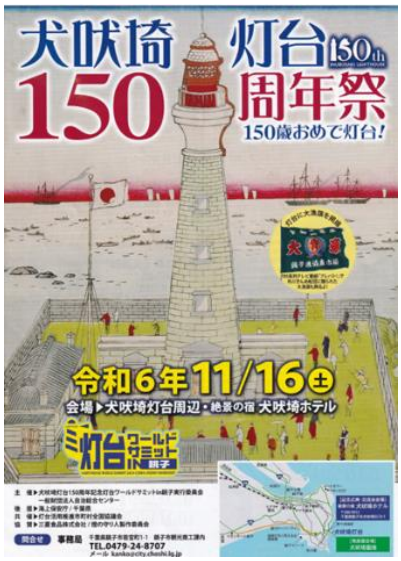
銚子ジオパークは認定後15年以上が過ぎました。この間、銚子ジオパークも市民の会も大きく変わってきました。最初は銚子市民の人達もジオパークとは何の事かわからない様子でしたが、最近では、市民の人達もジオパークというだけで、話が通じるようになってきました。これも推進室はもとより市民の会の皆様の日頃の活動の賜かと思います。

新しいジオガイドの人達もガイド活動を始めました。皆さまベテランのガイドに混じってガイドを行っています。学校の学習支援等は一度に沢山のガイドを必要とします。ガイドがまだ足りない時もあります。銚子ジオパークのガイドをできる人達が、もっと必要と思います。銚子ジオパークのガイドの人達は「何をどう伝えたらよいか」という事を常に考えています。児童・生徒を含めて、観光客のお客さんのガイドに対する評価もよろしいです。このまま皆さまで力を合わせて、銚子ジオパークを盛り上げたらと思います。

これから市民の会の活動が評価されていく中で、想定外の問題もでてくるかもしれません。市民の会も推進協議会の一員として、銚子ジオパークの発展のために皆さん一緒になり頑張って行きましょう。

房州 文子

明治7年11月15日初点灯の犬吠埼灯台で『150周年記念灯台ワールドサミットin銚子』が開催されました。11月16日は、灯台会場で150周年記念式典・ミニ銚子音楽祭・灯台マルシェも行われ、銚子ジオパークは化石のレプリカ作りを担当しました。当日は風が強くガスコンロが使えず、レプリカ作りは断念せざるを得ませんでしたが、代わりにクリアファイルと銚子のずかんの販売をしました。販売ブースを担当された皆さま、お疲れ様でした。



犬吠埼ホテル会場ではワールドサミット記念式典が開催され、私はパネルディスカッション灯台マニア座談会～テーマ「やさしい灯台」のパネリストの一人として、灯台の建つ岬の地層の話や清掃活動の事などを銚子生まれのジオガイドのエピソードも交えて大好きな犬吠埼灯台への思いを話させていただきました。

17日はエクスカーションツアーで、ジオパークはBコースを担当。お客様は37名で旧西廣家住宅と黒生（下ンビ岩・黒生大神宮）ポートタワーの3ヶ所をご案内しました。

犬吠埼灯台さま！これからもずっとずっとあなたのことが大好きです。

○　○

令和6年10月10日に、犬吠埼灯台150周年を祝し犬吠埼プラントン会の会員の私が講師となり、「犬吠埼灯台の事を正しく知ろう」と銚子ジオパーク市民の会の学習会を開催しました。学習会は、学習委員の宮内敏さんのPC準備や川原委員の協力の下、スライドを投影しながら60分ほど講演しました。

学習会「祝　犬吠埼灯台150周年」について　越川 奏一

講演の内容は、①昭和62年の大規模改修工事について　②改修工事は文化財としての重要性を考慮し（Aランク保存灯台）保存を目的とした日本初の改修工事となった。③犬吠埼プラントン会の25年間に渡る活動と霧笛舎の保存について（解体予定→学術調査→保存決定→重要文化財指定）④ウイキペディアとジオガイドネタ集での

（次頁に続く）

コラージュで復元した旧附属官舎